

リビエラカップ

第32回 東日本オプティミスト級セーリング選手権大会

神奈川県三浦郡葉山町 葉山港

2014年8月22日-24日

帆走指示書 (Bクラス)

1 規則

- 1.1 2013～2016 国際セーリング競技規則 (以下「規則」という) を使います。
- 1.2 Bクラスでは抗議は受け付けません。ルール違反した人、まわりからルール違反をおしえられた人は、ペナルティー (マークタッチは1回転。それ以外は2回転) を行ってください。
- 1.3 ライフジャケットは海上で着がえるとき以外は、いつも着ておかなければなりません。

2 選手への通告

選手へのおしらせは、公式掲示板にはりだすとともに、可能な限りアナウンスします。
海上でも本部船からお知らせすることがあります。できるだけ本部船の近くにいてください。

3 陸上で発する信号

- 3.1 陸上で信号 (旗) は、葉山港レース運営室横の信号柱にあがります。
クラス旗が同時に上がれば、そのクラスのみ。信号旗だけであれば全員、への信号です。
- 3.2 Bクラスのクラス旗とD旗があがるまでは出艇してはいけません。選手がスタートエリアに集まりしだいレースを始めますので、D旗が上がった後はすみやかにレース海面にむかってください。
- 3.3 基本は、Aクラスが出艇して、しばらくしてからBクラスのD旗があがります。

4 レース日程

- 4.1 Aクラス帆走指示書のとおりとします。ただし、スタート予告時刻はAクラスとちがいます。
- 4.2 Bクラスはできるだけたくさんレースを行います。
- 4.3 全艇フィニッシュしたあと、引き続きレースを行うので本部船のちかくにいてください。
ハーバーに戻る場合は、本部船から信号旗と声で選手に指示をします。
- 4.4 最終日は、13:00より後に予告信号 (5分前) はあがりません。
- 4.5 お昼ごはんを海上でとることはありません。

5 クラス旗

Bクラスのクラス旗は白地に赤のOP旗です。

6 レース・エリア

葉山新港を出て左がわ、すぐ近くの海面でレースを行います。本部船の指示にしたがってください。

7 コース、マーク

コース図は当日朝のミーティングで説明します。レース中、マークの移動は行いません。

また、Bクラスで使うマークは黄色の細長い円柱形のブイとします。

8 スタート、フィニッシュ、タイムリミット

- 8.1 スタートラインは、本部船のオレンジ旗をあげているポールと、スタートアウターマークの間です。
- 8.2 スタート後4分たってもスタートラインを横切れない艇は、「スタートしなかった艇 (DNS)」とされます。
- 8.3 フィニッシュ・ラインは、本部船のオレンジ旗をあげているポールと、フィニッシュアウターマークの間です。
- 8.4 トップフィニッシュから15分以内にフィニッシュしない艇は、「フィニッシュしなかった (DNF)」とされます。

9 得点

9.1 シリーズの得点

- (a) 1レース完了で、シリーズの成立とします。
- (b) 艇のシリーズの得点は全レースの得点合計とします。
- (c) 5レース成立するたびに、カットレースを1レース追加します。

成立したレース数	シリーズの得点の計算方法
1～4	全てのレースの得点の合計。
5～9	悪い得点1つをカットし、残りレースの得点の合計
10～14	悪い得点2つをカットし、残りレースの得点の合計
:	(以降、5レース成立するたびにカットレースを1つ増やす)

- 9.2 レースまたはシリーズの成績にまちがいがあると思ったら、レース委員会に聞くことができます。

10 安全規定

- 10.1 選手は、出艇または帰着のサインを必ずしなければなりません。
- 10.2 リタイアする艇は、近くのレース委員会の船に伝えなければなりません。
- 10.3 救助がほしい選手は、笛を吹くかパドルまたはうでを振ってください。ただしレース委員会が、救助が必要と判断した場合には、強制的に救助することがあります。

11 オフィシャル・ボート

レースに関係しているボートには以下の旗があがっています。

レース委員会の信号艇	「JODA」旗
レース委員会艇	「RC」旗
サポート艇	ピンク色旗

12 サポート艇（保護者、指導者の方へ）

- 12.1 サポート艇は、海上ではいつもピンク色旗をあげてください。
- 12.2 競技を妨げない範囲での陸上・会場からの応援やアドバイスを許可します。グッドマナーをこころがけてください。レース委員会より指示を受けた場合には従ってください。

13 ごみ処理

ごみは、サポート艇や、レース委員会の艇に渡してよいです。

14 艇の保管場所

ハーバー内では、OPは指示された場所においてください。（とおり道やスロープ前におきっぱなしにしない）

15 責任の否認（保護者、指導者の方へ）

選手は自分自身の責任で大会に参加する。規則4「レースをすることの決定」参照。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

16 保険（保護者、指導者の方へ）

レース公示のとおり

以 上